

令和8年度 板橋区立常盤台小学校 学校経営方針

板橋区コミュニティ・スクール(iCS)・ 学校支援地域本部との協働

学校・家庭・地域が課題や目標を共有しながら、地域の子どもたちを共に育みすべての子どもたちの安心できる学びの居場所を地域の学校につくる。

教育目標

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| ○健康で明るい子ども | … 心身共に健康で、情操豊かな子どもの育成 |
| ○みんなでなかよく助け合う子ども | … 互いの人格を尊重し、協働する子どもの育成 |
| ○よく考える子ども | … 主体的に課題解決に取り組み、その学びを表現する子どもの育成 |
| ○進んで働きやりぬく子ども | … 課題意識をもち自ら行動する、忍耐力と実践力のある子どもの育成 |



めざす学校像「すべての子どもが安心して楽しく通える学校」

新しいことや困難なことにも前向きに挑戦していく子どもたちを全力サポート！ ～小さな挑戦や変容を見逃さず、大いに誉める指導で自己肯定感を育みます～

確かな学力

「探究」と「基礎基本」の両輪で深い学びを！

重点取組1 「板橋区授業スタンダード S」の推進

学びのエリアの小中学校が協働し、子どもが学習内容や方法、ペース、順序を自己選択・決定し、学びを自己調整しながら進める自己調整学習（探究）の充実を図る。

- ・「常盤台小 BASIC プラン」に基づく基礎基本の確実な定着をめざした授業づくり
- ・板書（黒板・電子黒板）の構造化、ノートやツール、タブレットPCによる思考の見える化
- ・指導と評価の一体化を通して、子どものよい点や進歩の状況等を積極的に評価
- ・読書の奨励（100冊読書・1万ページ読書・図書館を使った調べる学習コンクール参加）
- ・算数科では習熟度別指導、ティームティーチング、放課後学習、AIを搭載した学習アプリの活用を全学年で実施
- ・学年の段階に応じた話し合い活動の充実

豊かな人間性

居場所・絆づくりを通して学校を心のふるさとに！

重点取組2 心の教育の推進

子ども一人ひとりの人権と個性を尊重し、子ども同士、子どもと教職員の好ましい人間関係を基にした温かい学校・学級づくり（居場所・絆づくり）を推進する。

- ・道徳科、総合的な学習に時間、特別活動等の特質に応じて心の教育を推進
- ・どんないじめも見逃さず（アンケート「ふりっきー」を毎月実施）、組織的な対応で確実に解消
- ・不登校の未然防止と対応を検討・実行する登校支援会議（SC,SSW,主任児童委員等参加）の実施
- ・SOSの出し方に関する教育の推進
- ・つばくらめタイムや連携型個別指導計画等による巡回指導教員（特別支援教室）との連携
- ・縦割り班活動や保育園・幼稚園との交流
- ・キャリア教育、地域に根ざした活動の展開
- ・金管バンドやマーチング（6年生）への取組

健康・体力

「できた！」「楽しい！」を積み重ねていく学習に！！

重点取組3 校内研究の推進

子どもが運動、食事、休養及び睡眠の大切さを正しく理解し、自ら健康的な生活スタイルを確立できる教育活動を推進する。

- 全国学校体育研究優良校 受賞(令和7年度)
- 東京都健康づくり優秀学校 受賞(令和7年度)
- ・研究主題
「自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習～板橋区授業スタンダード S の授業デザインを通して～」
- ・体育科におけるスタンダード S に基づく自己調整学習（探究）の定着及び他教科等への拡充
- ・学年の枠を超えた教師の協働的な授業づくりを通して子どもの学びの連続性を保障
- ・個別最適な学び、協働的な学びにつながるタブレットPCを活用した評価活動
- ・教師がプレイリーダー（遊びを届ける人）となり休み時間等に子どもと一緒に活動

チームとなって子どもを支える職員

- ・教師は子どもと過ごす時間を大切にし、職員間で情報交換を行うことで、子ども一人ひとりの学習のつまずきや学校生活の困り感を見逃さない。
- ・子ども一人ひとりの不安や悩みを受け止められる教育相談体制を構築し、子どもも、保護者も、教師も問題を一人で抱え込むような状況にしない。
- ・教師は保護者の要望や相談に対して真摯に傾聴し、共に解決策を考える姿勢を常にもつ。子どもの成長を共に喜び合える関係づくりに努める。
- ・教師は担当するコーディネーターや教科主任等において自らの強みをチームに還元し、相互補完の関係を築き、「授業革新」と「働き方改革」につなげる。